

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 9月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

できることへの感謝

校長 岩崎 健治

夏休みの延期による臨時休校が明け、暑さ厳しい中でも子どもたちが元気に登校してきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により分散登校のスタートとなりました。また、夏休み期間中には、多様性と協調をテーマとした東京五輪（オリンピック・パラリンピック）が開催されました。アスリートの活躍が目覚ましく連日のメダルラッシュが続きました。インタビューの中には、想像もつかないような努力と幾つもの壁を乗り越えてメダルを目指し、周囲の方から支援があってこの舞台に立てていることに感謝の気持ちを表すコメントが多くありました。

8月に入ると、すぐに連日の猛暑となりました。暑さの中、屋外の活動だけでなく室内の生活にも工夫が必要でした。暑さだけでなく、各地で記録的な大雨による大きな災害も続きました。

新型コロナウイルス感染症拡大で、緊急事態宣言が発出される状況になり、学校は8月31日まで夏休み延期の臨時休業となりました。考えもしなかったことが厳しさを増して現実となっている中で、これまでの教育活動ができたことへの感謝と同時に、子どもたちの安全・安心を第一に考え、感染症対策を十分に施して学校生活が充実したものになるように、環境整備やICT等を活用した学習環境づくり、その目的を達成するための工夫や配慮が益々必要になっています。

子どもたちには休みに入る前に、どんなことでもよいから何か一つでも「めあて」を持って取り組むとよいことを伝えました。厳しい状況でも元気で有意義に過ごし、笑顔で、元気に登校してほしいとの願いを伝えました。休みの期間中、一人ひとりが「めあて」をもち、充実した休みの生活をしてきたことが、登校してきた子どもたちの元気な姿や笑顔、持ってきている夏休みの作品、ポスター、自由研究等から伺うことができました。

暑さや大雨、感染症対策だけではなく、社会環境が大きく変化をしていく中、様々な状況に対応できる資質・能力の育成が、学校に求められています。だれもが安全で安心して学べる環境を第一に考え、どのような状況であっても、子どもたち一人ひとりの資質・能力を育み、支援していくことで、日々の教育活動ができることへの感謝の気持ちをもちながら、様々なことに全力で取り組む、チャレンジしてほしいと願っています。どんな時代でもたくましく生きていく子どもたちの成長を支えていけるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。



《高く伸びていくヘチマと瓢箪》